

2025年8月6日

各位

本店所在地 東京都港区赤坂九丁目7番2号  
会社名 ネクセラファーマ株式会社  
(コード番号 4565 東証プライム)  
代表者 代表執行役社長 CEO  
クリストファー・カーギル  
問い合わせ先 IR部 西下進一郎  
電話番号 03-5962-5718 (代表)

## ファイザー社の開発中止および肥満症・長期的体重管理を目指す 自社開発パイプライン群の立ち上げについて

*自社の新規経口低分子 GLP-1 作動薬を中心に、GIP、アミリン、アペリン受容体などを標的とする  
その他6品目のパイプライン群により治療環境の転換を目指す*

*長期的体重管理、合併症を伴う代謝障害、体重減少時の筋肉量維持などの  
新たな患者ニーズに対応すべく設計*

ネクセラファーマ株式会社（以下「当社」）は、既に実施している Pfizer Inc.（以下「ファイザー社」）や Eli Lilly and Company との研究開発提携とは別に、肥満症および長期的体重管理を標的とした自社開発パイプライン群を立ち上げましたので、お知らせいたします。これらの疾患に関わる複数の G タンパク質共役受容体（以下「GPCR」）を対象としており、パイプラインの強化、および創薬の加速を進めていきます。

なお、ファイザー社は、8月5日（米国時間）、当社との戦略的研究開発提携で発見され、フェーズ1試験を実施中であった低分子 GLP-1 作動薬候補である PF-06954522 の開発を中止しました。この開発中止は、同社のポートフォリオに関する決定に基づくもので、安全性によるものではありません。当社は今後、PF-06954522 も含め、ファイザー社が発見・保有する GLP-1 作動薬の開発方針について、ファイザー社との協議を開始する考えです。

当社代表執行役社長 CEO であるクリストファー・カーギルは次のように述べています。「当社の研究者は、GLP-1 受容体および他の関連受容体の構造を他に先駆けて解明しており、ベストインクラスとなる可能性のある次世代候補品の開発で明確な優位性を持っています。過去12カ月にわたり、当社は水面下で、これら技術を活用した、肥満症および長期的体重管理に関する幅広いパイプラインの開発を進めてきました。本日、当社はこれらのプログラムを当社の創薬ポートフォリオに追加したことをお知らせします。これにより、年間売上高が1,000億ドルを超えると予測され、急速に成長する肥満症治療薬市場において、中期的に大きく飛躍し、株主の皆さまおよび患者さまにとって明確な価値をご提供できると確信しています。」

パイプライン群の中心となる、当社完全所有の新規経口低分子 GLP-1 作動薬プログラムは、ファイザー社の

PF-06954522 とは別の化合物で、差別化された科学的性質を特徴としており、当社はこの化合物の開発を進めるための全ての権利を保有しています。

この GLP-1 作動薬を補完する形で、当社は肥満症および長期的体重管理を対象に、既知の GPCR を標的としたその他 6 品目のパイプライン群の開発を並行して加速しています。具体的には、以下の品目です。

- **3 品目の低分子作動薬プログラム**

グルコース依存性インスリン分泌刺激ポリペプチド (GIP)、アペリン、アミリン

- **1 品目の低分子拮抗薬プログラム**

GIP

- **2 品目の長期作用型プログラム**

標的は非開示

当社は、GPCR に的を絞った独自の「NxWave™」構造ベース創薬プラットフォームにより、独自性が高く、差別化された新規の化学的性質を持つリード分子を、速やかに特定することが可能です。このプロセスでは、当社独自の NxHit 低分子化合物ライブラリーと NxStaR タンパク質を用いた DNA エンコードライブラリ (DEL) スクリーニングにより、世界中の他候補品と差別化します。また、当社は以下のような患者さまニーズが大きな領域に集中し、効果の高い治療薬の提供を図ります。

- **長期的体重管理**

利便性、容易な用量設定および経口薬による継続的な体重管理

- **肥満の重大な合併症を標的**

心血管疾患、腎疾患、肝疾患や新たな適応症への治療効果の改善

- **副作用軽減と治療が困難な患者への拡大**

高齢者、閉経後女性、サルコペニアの方を対象にした治療薬

当社は、GPCR 創薬において豊富な経験を持つ専門家チームを擁し、戦略上、肥満症および代謝性疾患に対する最高水準の次世代治療薬の開発におけるリーダーとしての地位を確立できる状況にあります。また、神経疾患、消化器系疾患、免疫疾患などの他の主要治療領域においても、強力な「NxWave™」プラットフォームを活用した取り組みを進めています。

当社は、ファイザー社の開発中止が 2025 年 12 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であると判断していますが、重要な影響が判明した場合は速やかに開示いたします。

当社は、2025 年 8 月 8 日に 2025 年 12 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績およびビジネスハイライトを発表する予定です。

以上

2 of 3

## ネクセラファーマについて

ネクセラファーマ株式会社は、テクノロジーに立脚したバイオ医薬品企業であり、日本および世界中のアンメットニーズにお応えし、患者さまの生活の質を向上させる新しいスペシャリティ医薬品をお届けすることを目指しています。

当社は、価値が高く大規模、かつ成長著しい日本および APAC の広範な市場で、複数の上市済み製品をはじめ、画期的な医薬品の開発・販売を行うアジャイルで次世代の商業化ビジネスを展開しています。

当社独自の「NxWave™」創薬プラットフォームを活用して、探索から後期臨床段階にある 30 品目を超えるプログラムからなる幅広いパイプラインの開発を、自社で、あるいは大手製薬企業やバイオ医薬品企業との提携により推進しています。このパイプラインには、ファーストインクラスまたはベストインクラスの候補化合物が含まれ、肥満症・代謝障害、神経疾患・神経精神疾患、免疫疾患・炎症性疾患などの大きく成長する治療分野における主要なアンメットニーズにお応えすることに重点を置いています。

当社は、東京、大阪、ロンドン、ケンブリッジ、バーゼル、ソウルに主要拠点を展開しており、約 400 名のグローバル従業員が活躍しています。

詳しくは、ホームページ [www.nxera.life/jp](http://www.nxera.life/jp) をご覧ください。

LinkedIn: [@NxeraPharma](#)

X: [@NxeraPharma](#)

YouTube: [@NxeraPharma](#)